

平成28年度
商工観光部各課所管の中小企業振興関連施策について

(1) 商業労政課

平成 28 年度の主な事業

■ 中小企業振興推進事業

地域経済の発展と市民生活の向上のため、雇用の担い手である中小企業者を対象とした各種セミナーやアンケート調査を実施する。

また、当審議会においては、各種中小企業振興策のご審議のほか、第 2 次北見市産業振興ビジョンの進行管理を行っている。

■ 融資制度預託金

中小企業の育成振興と経営安定に寄与するため、事業運営の基礎となる金融の円滑化、正常化を目的として、北見市中小企業融資制度による 11 種類の融資を行っており、資金運用原資として、市内取り扱い金融機関に預託している。

<利用状況>

・新規貸付件数	25 年度	126 件	1,782,440 千円
	26 年度	129 件	1,651,540 千円
	27 年度	101 件	1,520,900 千円
・既貸付残件数	25 年度	568 件	5,409,318 千円
	26 年度	558 件	5,024,379 千円
	27 年度	508 件	4,634,634 千円

■ 融資信用保証料補給金

経営安定革新資金及び緊急小口資金の借受者が、保証協会の保証付とした場合に保証料の一部補給を行う。

平成 20 年 12 月より経済対策として条件を緩和し、中小企業に対する支援を行っており、厳しい経済環境が継続しているとの判断から期間の延長を行っている。(平成 29 年 3 月 31 日までの時限的措置)

・補給実績	25 年度	28 件	3,141,936 円
	26 年度	38 件	5,383,575 円
	27 年度	18 件	2,717,929 円

■ 地域商店街振興対策事業

商店街振興組合等が地域の賑わいを創出し、より魅力ある商店街づくりを目的として行うイベントや、活性化アドバイザーの招聘等に対し補助する。

■ まちなか賑わい創出事業

商工会議所が中心市街地の空き店舗対策として行うアンテナショップ事業やチャレンジショップ事業など、商店街の賑わいの創出並びに活性化を図る事業に対し補助する。

■ まちなか魅力向上支援事業

商店街振興組合や商工会議所が中心市街地に賑わいを創出するために、空き店舗を利用したギャラリーの開設のほか、商店街の魅力を伝えるソフト事業と連携したまちなか回遊事業等に対し補助する。

■北見地域季節労働者通年雇用促進協議会

季節労働者の通年雇用の促進に自発的に取り組む地域の関係団体で構成する北見地域季節労働者通年雇用促進協議会が策定した「雇用対策計画」の中から通年雇用効果の高い事業を国が承認した上で、国からの委託事業として実施している。

- ・会 長 : 北見市商工観光部長
- ・構成団体 : 自治体 ……オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町
関係団体……北見商工会議所、留辺蘂商工会議所、きたみ市商工会、北見建設業協会など14団体

■北見市雇用創造協議会

雇用機会が不足している地域において、市町村や地域の経済団体等で構成する北見市雇用創造協議会が提案した雇用対策に係る事業構想の中から雇用創造効果や地域の雇用機会の増大が見込まれる事業を国が採択した上で、国からの委託事業として実施している。

【基本メニュー】

- 雇用拡大メニュー（事業主向けセミナー）
- 人材育成メニュー（求職者向けセミナー）
- 就職促進メニュー（就職面接会、就業促進情報提供事業）
- ※3年間で174人の就業者を目標

【実践メニュー】

- 地場産品を活用した新商品開発事業
- 新観光プログラム開発事業
- ※食関連産業、観光関連産業の活性化を図り波及的に雇用を拡大する。

- ・会 長 : 北見商工会議所副会頭
- ・構成団体 : オホーツク総合振興局、北見市、北見商工会議所、
北見工業大学、オホーツク産学官融合センター、
中小企業基盤整備機構北海道本部、(公財)オホーツク地域振興機構、
(一社)北見工業技術センター運営協議会、
北見市観光協会連絡協議会

■北見市大卒者情報センター

市内企業等の人材確保を目的として、北見地域に就職を希望する大学生・専門学校生などに当センターに登録を行っていただき、就職に関する資料や企業情報などを提供している。また、平成27年度より北見商工会議所や北見工業大学と連携し、地元企業合同説明会を開催している。

- ・会 長 : 北見市副市長
- ・構成団体 : 北見市、北見公共職業安定所、北見商工会議所、北見工業大学、
日本赤十字北海道看護大学

■労働状況調査事業

市内の民間企業における従業員の雇用状況を把握し、今後の労働条件等の改善や労働力確保・定着を図るため、賃金をはじめとした諸労働条件についての調査を毎年、実施している。

■雇用就業推進事業

・「ジョブサポートきたみ」の運営

求人情報の提供、就職・就業への支援、相談員による就職相談

利用状況 6, 243人 (H27年度)

併設機関

北海道 H16 ジョブカフェ北見 (北海道若年者就職支援センター)
若年者 (39歳以下を対象)

就職に向けたカウンセリング、セミナー、
就業支援システム 等

H24 ジョブサロン北見 (北海道中高年者就職支援センター)
中高年者 (概ね35歳以上を対象)

適職診断、カウンセリング 等

国 H25 ハローワークきたみ (北見公共職業安定所)
求職者に対する相談・指導、職業紹介

■技能・ものづくり体験事業

技能振興都市宣言に基づき、地域ぐるみによる技能尊重社会を目指すため、技能・ものづくり体験を通じて、技能の振興を図る。

・ものづくり体験事業

浴衣和裁講座、ものづくり体験教室

・技能普及啓発事業

地域の食材を活用した新商品の開発や技術普及の講習会開催

平成28年度の主な予算計上項目

(単位：千円)

事業名	金額
中小企業振興推進事業費	1,255
融資制度預託金	2,638,344
融資信用保証料補給金	6,480
地域商店街振興対策事業補助金	1,660
技能振興推進事業費	4,107

所管施設

- ・北見市働く婦人の家 (北見市女性センター)
- ・北見勤労者総合福祉センター (サントライ北見)
- ・北見中高年齢労働者福祉センター (サンライフ北見)
- ・北見地域職業訓練センター (スキルアップセンター北見)

(2) 工業振興課

平成 28 年度の主な事業

■北見市工業技術センター運営管理

木工、機械、金属等の地場企業に対する技術指導、研究開発等を推進し、工業振興を推進することを目的に昭和 57 年に市が設置した施設。

平成 16 年度より指定管理制度により一般社団法人北見工業技術センター運営協会により運営。

■企業立地活動の推進

推進組織：北見地域企業立地促進協議会

(会長：北見工大社会連携推進センター長 事務局：北見市)

昭和 45 年設立。大学・公設試験研究機関・民間企業等 15 団体で構成。

地域経済に高い波及効果をもたらす企業立地を積極的に促進し、活性化を図るため、企業立地に関する調査、研究及び情報の収集を行っている。

■ふるさとテレワーク推進事業

最新の I C T を活用して首都圏企業の人と仕事を誘致する取り組みを継続、首都圏での P R 活動や地元人材育成を強化して実施。

(地方創生加速化交付金「I C T 拠点を活用した人と仕事の誘致と地元人材の育成による地域活性化事業」として採択)

■企業訪問活動等

首都圏等の企業訪問予定件数 100 件(立地企業本社、その他企業など)

- ・現在訪問企業の I T 関連会社数社と北見進出について継続的に接触中。
- ・北見工大生の来年度採用について複数名内定している。

■工業団地・ハイテクパーク

ハイテクパーク立地促進補助金を活用し、積極的な誘致活動を展開している。

- ・分譲率：工業団地 99.7%、95 社 ハイテクパーク 41.1%、3 社、3 公的支援機関

■地域資源活用の推進(高付加価値化・販路開拓)

推進組織：北見市地場産品高付加価値化推進委員会

(委員長：北見商工会議所中小企業委員長 事務局：北見市)

平成 17 年 7 月設立。農協、漁協、商工会議所、行政機関等で構成。

当地域の豊富な農林水産資源を活用した加工製品の開発、及び大都市圏等への地場産品の販路拡大等の取り組みを支援する。

■産学官連携の推進

推進組織：北見市産学官連携推進協議会

(会長：北見工業大学理事・副学長 事務局：北見市、北見工業大学)

平成 16 年 5 月設立。商工会議所、大学、金融機関等 14 団体で構成。

産学官交流促進を目的としたビジネスセミナーや起業家育成支援セミナーな

どを開催。さらに、北見工業大学の知見を活用し、地元事業者との共同研究開発事業を積極的に推進している。

- ・大学・公設試験研究機関との共同研究開発事業 62件(H17-H27)
- ・連携構築補助事業 68件(H19-H27)

■新エネルギー推進事業

推進組織：オホーツク新エネルギー開発推進機構

(会長：北見工業大学理事・副学長 事務局：北見市)

平成14年5月設立。市内の大学、エネルギー関係機関で構成。

平成24年度に策定した「北見市新エネルギー・省エネルギービジョン」に掲げる基本理念と推進プランの実現に向け、新エネルギーの普及・啓発事業を実施するとともに、産学官による共同研究を推進する。

平成28年度の主な予算計上項目 (千円)

企業立地推進費	55,000
北見地域企業立地促進協議会負担金	4,000
企業立地補助金	10,000
ハイテクパーク立地促進補助金	10,000
通信費低減化支援補助金	2,000
輸送費低減化支援補助金	2,000
I T企業進出支援補助金	1,000
ふるさとテレワーク推進事業費	26,000
工業技術センター運営管理費	53,424
工業技術センター運営管理費	53,424
オホーツク圏地域食品加工技術センター運営費補助金	27,800
地場産業振興費	4,000
地場産品高付加価値化推進委員会負担金	4,000
産業クラスター推進費	14,150
産学官連携推進協議会負担金	1,500
大学及び公設試験研究機関共同研究開発補助金	3,000
連携構築支援補助金	2,500
オホーツク産学官融合センター経費	5,800
北見工業大学社会連携推進センター推進協議会負担金	1,350
新エネルギー推進費	21,750
オホーツク新エネルギー開発推進機構負担金	3,400
住宅用太陽光発電システム導入費補助金	15,000
再生可能エネルギー活用推進事業費	3,350

所管施設

北見市工業技術センター（指定管理者：（一社）北見工業技術センター運営協会）

関連施設（運営費補助）

道立ホーツク圏地域食品加工技術センター（指定管理者：（公財）ホーツク地域振興機構）

関係イベント

起業家育成支援セミナー（北見市産学官連携推進協議会）

ソーラークリエイティブ in 北見（ホーツク新エネルギー開発推進機構）

(3) 観光振興室

平成 28 年度の主な事業

■北見市観光推進プロジェクト（平成 28～30 年度）

- ・観光・宿泊事業者などの主体的関わりと役割分担をした体制構築をめざし、策定にあたっては、観光協会及び観光関係団体など 17 組織で構成する策定委員会（14 人）及び検討部会（17 人）を設け策定。
- ・「受入態勢づくり」（資源のブランディング・マーケティング・商品化）と「プロモーション」（販売・宣伝）の両輪をめざす。 → 着地型観光体制の構築。
- ・単発のイベント・行事による集客とは別に、4 つの地域が持つ資源と各観光協会が、それぞれめざす施策から共通項の複合と、各地オリジナル戦略を切り分けた総合策をめざす。 → 着地型観光商品のブランディングとマーケティングへの着手。

基本方針：(1) 北見市の観光推進体制の強化

- (2) 行ってみたいくなる北見を目指した魅力づくり
- (3) 広域連携の推進
- (4) 周遊・交流都市にふさわしいインフォメーションネットワークづくり
- (5) 北見シティ・プロモーション
- (6) インバウンドの推進

■観光・プロモーション関係

○道内中核都市観光連携協議会

構成団体： 北見市・札幌市・函館市・旭川市・釧路市・帯広市

主な事業： 道内 6 都市 集客・周遊プロモーション事業

- ・道内外観光客をターゲットに、各都市の観光スポットのクーポンを用意し、ガイドブックとスマホの GPS 機能を活用したスタンプラリー「トク旅北海道」を実施し、各都市への集客と周遊を促進する事業などを実施。

○招へい・旅行商談会等

- ・V J 地方連携事業による海外旅行会社の招へい、視察ファムトリップ。
- ・ひがし北海道観光事業開発協議会主催の素材説明会や旅行商談会（札幌・東京エージェント対象）への参加。

○大雪国道広域観光推進協議会事業

構成団体： 北見市・上川町・おんねゆ温泉観光協会・層雲峡観光協会・おんねゆ温泉旅館組合・層雲峡温泉旅館組合

事業内容： 温泉、山の水族館など既存資源のブランディングとともに、日本一の生産量を誇る白花豆を使った、ご当地食によるおもてなしを実施。温根湯挙げての底上げを宿泊拠点として、既存交通である都市間バス石北号と今年度実施される広域周遊ルートバスと連動した誘客を図ることを目的とした事業を実施。

■コンベンション関係

○北海道コンベンション誘致推進協議会との連携

構成団体： 札幌・旭川・函館・釧路・北見の5都市

- ・コンベンション誘致活動や誘致に向けたPR活動。
- ・北海道コンベンション誘致推進協議会 MICE 懇談会／商談会。
- ・国際ミーティング・エキスポ出展。

○開催支援補助金

全国・全道規模以上の100名を超える宿泊を伴う北見市開催のコンベンションについて、参加人数により最大55万円を補助。

平成28年度予定：8件 1,750千円

■物産関係

○北海道の観光と物産展事業

道外の主要百貨店で開催される北海道主催の「北海道の観光と物産展」は全国で35会場。その内北見市の主催会場として東武池袋百貨店や山形屋百貨店など21会場を選定。

地場企業から出店している出展企業のサポート及び観光パンフやポスターなどで北見市の観光PRを行う。

○高知との物産交流（オホーツク北見フェア）

姉妹都市高知市の観光名所である「ひろめ市場」において、より幅広い層の高知市民・県民の皆様向北見の物産をPRすることを目的に、北見独自の物産観光PRイベントを実施。

開催期間： 毎年2月中旬

開催場所： 高知市内「ひろめ市場」

内 容： 北見の特産品販売、イートイン、観光PR

出店店舗： 11店舗（平成27年度実績）

平成28年度の主な予算計上項目

自治区	名 称	金額(千円)
全 体	着地型観光推進プロジェクト	36,000
	観光関係団体補助金	24,605
	コンベンション推進事業	4,550
北 見	自然休養村センター運営管理費	37,356
	ファミリーランド運営管理費	18,682
端 野	グリーンクアパーク運営管理費	33,125
常 呂	森林公園運営管理費	11,098
	サロマ湖ワッカネチャセンター運営管理費	15,040
留辺蘂	道の駅おんねゆ温泉運営管理費	8,011

主な所管施設

自治区	名 称	備 考
北 見	北見ファミリーランド	
	北見市自然休養村センター	
	北見市菊花試験栽培センター	
端 野	グリーンクアパーク	のんたの湯、パークゴルフ場
	物産センター	端野駅
常 呂	常呂町森林公園	パークゴルフ場・記念塔
	常呂常南ビーチ	
	手工芸の館	
	ワッカネイチャーセンター	サロマ湖
留辺蘂	道の駅おんねゆ温泉	山の水族館
	滝の湯ふれあいの里	